



## 「第10回自然科学研究発表会」で「最優秀賞」を受賞しました



10月25日（日）に、「令和2年度佐賀県高等学校文化連盟第10回自然科学研究発表会」が、致遠館高校を会場として開催されました。これは、生徒の科学的探究力を高め創造性と研究能力の向上を目指すことを目的として、自然科学に関する研究・観察について研究成果を発表する大会です。

本校からは、サクラのアレロパシー物質について研究活動に取り組んでいる科学部が参加し、「サクラの葉による発芽抑制2 ～クマリンの秘密に迫る～」の研究発表で「最優秀賞」を受賞しました。

科学部は、佐賀県代表として、令和3年2月開催の「令和2年度九州高等学校生徒理科研究発表大会」及び同年8月開催の「第45回全国高等学校総合文化祭自然科学部門」に出場が決定しました。今後の活躍にも期待します。

### 受賞者からひと言

- いつも研究を頑張っていてよかったと思いました。部長として、科学部員を引っ張って行けるように、より練習に精を出していきたいです。
- 正直驚きましたが、選ばれてよかったです。これからも研究に励んでいきたいと思います。
- 「過ぎたるは猶及ばざるがごとし」では、我々は度が過ぎた行いをしてはならないということを教えられ、「事の理に因れば、則ち勞せずにして成る」では、道理に従って行えば苦勞をせずともできることがあるということを教えられました。
- 大会で優勝したことに一喜一憂せずに、来年度の大会も優勝ができるよう、気を引き締めてしっかりと準備を進めていこうと思った。また、この部活に発表者として貢献できたので、とても光栄に感じた。
- 今回はよい結果を残せましたが、発表や研究での反省点を次回以降に生かして、さらに良い研究となるようこれからも実験を行っていこうと考えています。
- 薬品の量を計るなど、慣れていない作業が多く、うまくいかないことも多かったですが、実験をするたびに慣れていき、最優秀賞という結果に貢献出来て、とても嬉しいです。
- 慣れない実験で分からないことがたくさんあったけれど、先生や先輩方に実験器具の使い方や物質の構造などたくさんの方の事を教えていただけました。